

女性ドライバー等が運転しやすいトラックのあり方検討会の設置について

平成30年 3月14日

トラック運送事業は、我が国の産業活動や国民生活の基盤を支える重要な産業であるが、一方で、トラックドライバーにおける有効求人倍率は、平成30年1月現在で2.76と、全産業平均の1.52倍と比べて、1.8倍となっており、他の産業に比べ人手不足が深刻な状況にある。また、女性の就業割合（全体の2.5%）が低く、高齢層の割合が高く（50歳以上37.6%）、若年層の割合が少ない（25歳以下3.2%）状況にあることから、将来の担い手の確保や現在勤務しているドライバーが引き続き働きやすい環境を維持することが、我が国における物流サービスの継続的な提供に資することとなるため、女性を始めとする多様な人材の確保のための環境整備は必要不可欠である。

女性等のトラックドライバーがトラックを運転するに当たって、運転席への昇降、運転席ポジションの調整、安全運転を支援する車両技術などの配慮すべき事項があり、トラック業界により多くのドライバーを呼び込むためにも、女性ドライバー等が運転しやすい車両の開発が強く望まれている。

そこで本検討会を設置し、女性等のトラックドライバー等の視点に立った車両のあり方に対する議論を進め、最終的にはガイドラインを取りまとめ浸透を図ることによって、働きやすい労働環境を整備し、女性等のトラックドライバーの人材の確保・育成を推進していくこととする。

【今後のスケジュール】

- ・平成30年3月14日：第1回検討会
- ・平成30年11月目処：最終取りまとめ（ガイドライン（仮称）の作成）